



議事（１） 歯科診療所における院内感染対策

1



これまでの経緯

国からの通知など

- ・ 歯科医療機関における院内感染対策の周知について (平成26年通知)
- ・ 歯科医療機関における院内感染対策の周知について (平成29年通知)
- ・ 歯科医療機関等に対する院内感染に関する取り組みの推進について (令和元年通知)
- ・ 一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針 (第2版) (平成31年)



本市における対応

- ・ 令和5年度より歯科診療所の立入検査時に感染対策について調査を開始
- ・ 令和5年度より医療安全推進協議会にて調査結果の報告

2

調査内容①

- ・ 実施方法 立入検査時に調査票を使用して聴取
- ・ 調査期間 令和5年度より開始
- ・ 調査施設数 48施設
- ・ 調査内容
 - ハンドピースの取扱い
 - 手袋の取扱い
 - その他個人防護用具
 - その他
 - 使用済みの切削用ポイントやバーの扱い
 - 使用済みの根幹治療用リーマーやファイルの扱い
 - 使用済みの超音波スケーラーチップの扱い
 - 使用済みの基本セット（デンタルミラー、ピンセット等）の扱い

3

調査結果①

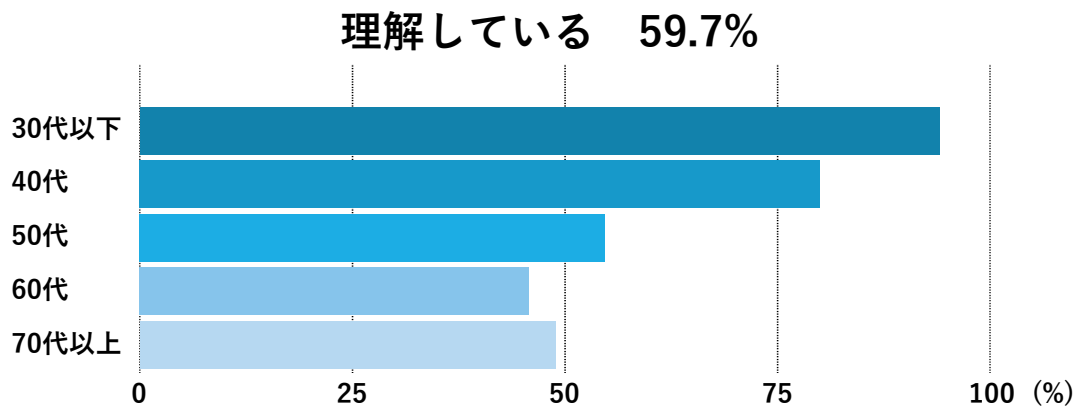
項目	回答	市内	県調査*
ハンドピース	患者毎に交換後、滅菌	100 %	77.2 %
診療時の手袋	全症例使用、患者毎に交換	95.8 %	80.8 %
診療時以外の手袋	手袋を外して他の業務を行う	95.8 %	74.9 %
個人防護用具	診療中は常時装着	52.1 %	42.2 %
	切削時の際は装着	35.4 %	22.1 %
切削用ポイントやバー	洗浄後、滅菌	95.7 %	73.8 %
根管治療用リーマー等	洗浄後、滅菌	93.3 %	72.4 %
超音波スケーラーチップ	洗浄後、滅菌	95.8 %	77.1 %
基本セット	洗浄後、滅菌	97.9 %	90.1 %

*歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握するための調査報告書 (R7.2.24 千葉県衛生研究所)

県調査と比較すると**すべての項目において高い水準**

4

【参考】スタンダードプリコーションの年代別理解*



*歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握するための調査報告書 (R7.2.24 千葉県衛生研究所)

理解している管理者は年代が高いほど少ない
→研修の受講や院内感染対策指針等の確認が必要

5

調査内容②

- 実施方法 立入検査時に調査票を使用して聴取
- 調査期間 令和7年10月より開始
- 調査施設数 17施設
- 管理者の推定年代
30代5名、40代1名、50代3名、60代7名、70代1名
- 調査内容
スタンダードプリコーション (SP) の理解
外部研修の受講
従事者向け研修の年2回程度の実施及び記録
院内感染対策指針等の定期的な見直し及び院内周知

6

調査結果②

項目	回答	市内	県調査*
SPの理解		100 %	59.7 %
外部研修の受講		100 %	-
従事者向け研修の実施	年に2回以上	73.3 %	47.0 % (定期的な実施)
	年に1回以上	94.1 %	
従事者向け研修の記録		81.3 %	-
定期的な指針の見直し	年に1回以上	20.0 %	-
	(不定期な見直し)	73.3 %	-

*歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握するための調査報告書 (R7.2.24 千葉県衛生研究所)

従事者向け研修の研修頻度と定期的な指針の見直しに課題

7

今後の方針案

- ・ 器具、手袋及び個人防護具の取り扱いは概ね良好であった
- ・ スタンダードプリコーションの理解は全年代で良好であった
- ・ 院内感染対策指針等の定期的な見直しと従事者向け研修の年2回以上実施が課題であることがわかった



今後の診療所立入検査において
指針等の見直し頻度と研修実施頻度を
重点的に確認することとする

8